

9. 四国（地域別調査機関：四国経済連合会）

（-：回答が存在しない、：主だった回答等が存在しない）

分野	景気の先行き判断	業種・職種	景気の先行きに対する判断理由
家計 動向 関連	良くなる やや良くなる	-	-
		百貨店（営業担当）	・土曜夜市など、徐々に人の動きが活発になってきている。
		コンビニ（エリア担当）	・人の動きは、特に週末を中心に良く、気温の上昇に伴って、ソフトドリンクなど、温度対応商品の販売量が非常に多くなり、消費は拡大している。
		通信会社（営業担当）	・安いもので辛抱する商品と、高くても購入する商品との区別が明確になっており、高くても自分の趣味に合う商品を購入する層が増えてきている。
	変わらない	その他住宅〔不動産〕（経営者）	・買い注文が増加している。
		百貨店（売場主任）	・客の動向からみると、秋物の動きに変化が無く、非常に厳しい。夏物のパーゲンでは秋物の動向が見受けられるが、今年は、秋物の動向も弱く、3か月先の実売が非常に不安である。
		スーパー（統括担当）	・買い物単価は、対前年比94%ぐらいで推移をしており、特に良くなると思わない。
		コンビニ（店長）	・ボーナス、サッカーワールドカップの影響で、売上が伸びると判断したが変化がない。
		衣料品専門店（経営者）	・ボーナス時期でも購入態度が慎重である。
		衣料品専門店（経営者）	・夏のセールでも売上はあまり良くない。このまま秋物のシーズンになってもあまり変わらない。
		家電量販店（営業担当）	・生活必需品以外での販売を伸ばせない状況が当面続いていく。
		乗用車販売店（従業員）	・真夏の客の動向を見る限りでは、良くなる要素が見あたらない。
		乗用車販売店（従業員）	・3か月前から底の状態が続いている。この調子で上向きに上がるという傾向は考えられない。
		観光型旅館（経営者）	・3か月先の予約状況が、あまり良くない。
		タクシー運転手	・ボーナス時期にもかかわらず、中高年層、サラリーマンの客が少なくなっている。
通信会社（総務担当）	・企業の雇用調整が終わっていない感じから、個人消費を上げる要因が見当たらない。		
ゴルフ場（従業員）	・来場者数が伸びる時期だが、予約状況は少ない。		
やや悪くなる	商店街（代表者）	・郊外大型店の開店による入込客の減少は底をついたが、それ以上に夏のセールの売上が芳しくない。夏休みに入っても、夏のイベントが始まって、入込客が非常に悪い。	
	一般小売店〔酒類〕（経営者）	・3か月後は、高速道路が延伸し、地元の人々の買い物が高速道路を利用し、市外に流れていく。	
	百貨店（営業担当）	・小口売上げに減少傾向が見られ、ブランド商品もばらつきが見られる。こだわり商品に対する目的買いは見られるが、普及品、価格訴求品に対する購入意欲の変化は見られない。	
	百貨店（会計担当）	・現在の消費動向は、まだ底を打ったという感じがしない。必要最低限の消費傾向が続いている。	
	スーパー（店長）	・客単価が徐々に昨年割れし、その幅がさらに広がってきている。	
	その他専門店〔CD〕（店員）	・客の物を買わない傾向により、全体的に買上率が落ちてきている。	
	設計事務所（職員）	・手持受注量が減少している。	
悪くなる	衣料品専門店（経営者）	・地元の百貨店外売部門が撤退することになっており、これにより、地元商店街の魅力が一層低下する。	
	通信会社（企画担当）	・デフレの状況で、電話機の買換えが減少している。	
企業 動向 関連	良くなる やや良くなる	-	-
		化学工業（営業担当）	・生産調整により、適正在庫が維持されている。全体的に受注量が増加傾向にある。
	変わらない	不動産業（経営者）	・去年と比べ家賃の希望額が高くなっている。
		家具製造業（営業担当）	・在庫調整が進んだため、荷動きは順調に推移しているが、販売店や大口得意先からの値下げ要請は強く、売上数量は伸びても利益にはならない。
一般機械器具製造業（経理担当）	・首都圏の再開発も一段落して、全国的にクレーンの稼働状況が悪い。ゼネコンの受注競争激化により、クレーンのリース単価が低下傾向にある。四国県内においては、工作機械など機械関係の設備投資の動きがほとんど見られない。		

分野	景気の先行き判断	業種・職種	景気の先行きに対する判断理由
		建設業（総務担当） 輸送業（支店長）	・受注量、受注単価ともに低水準のまま安定している。 ・中小企業の体力も限界線にあり、今後も廃業、倒産が続く心配がある。
		輸送業（配車担当） 通信業（支店長）	・荷動き状況から景気回復は見えていない。 ・客の購買意欲に変化がない。
		広告代理店（経営者）	・客の年間広告予算が減少していることから、年間契約が減少している。受注も単価競争など厳しい状態が続いている。
	やや悪くなる	電気機械器具製造業（経営者）	・円高傾向で120円を切ると、経営的にも非常に苦しく、景気は悪くなる。
	悪くなる	-	-
雇用 関連	良くなる	-	-
	やや良くなる	求人情報誌製作会社（編集者）	・中途採用のニーズは増加している。
	変わらない	人材派遣会社（支店長）	・企業から派遣の依頼数は増えているが、一時的な仕事が多く、良くなる材料にはなっていない。
		求人情報誌製作会社（従業員）	・求人広告数が減少している。
		職業安定所（職員）	・パートを含む有効求職者数は対前年比で微減となったが、パートを除く有効求人倍率は2カ月連続で0.36倍と落ち込んでいる。求人数の減少傾向に歯止めがかからない状況で、パート求人も10カ月連続で対前年同月比マイナスとなっている。
	やや悪くなる	学校[大学]（就職担当）	・求職者数は増加傾向にあるが、求人数は減少傾向にある。賃金は横ばいか下がる傾向にある。
	悪くなる	人材派遣会社（支店長）	・契約更新を長期間でみていた取引先が、公共工事の業務量の減少で契約が終了した。また、これまで3カ月更新の契約であったのが、先行きの不透明感から1カ月更新に変わった。